



**ぐるり** [ 潮吹き防波堤( 稲葉町・高砂町 ) ]  
**四日市**

潮吹き防波堤は四日市港の旧港内にあり、明治27年に完成しました。総延長は199メートル、外海側の小堤と港内側の大堤が並行した二重構造で、大堤には49カ所の五角形の水抜き穴が設けられています。港外からの波は小堤で弱められ、さらに大堤で受け止められる仕組みで、小堤を越えた海水が両堤の間にある溝にたまり、水抜き穴から港内側へ流れ出るようになっており、この様子から「潮吹き防波堤」と呼ばれるようになりました。今も水抜き穴のある大堤は当時のまま残され、平成8年に国の重要文化財に指定されました。

特集

最終年度を迎えた新・行財政改革  
太陽光発電システム設置に補助  
身近な自然の調査結果がまとまる